

2021.8

64

福祉の ひろば

発行者／社会福祉法人 青森県社会福祉協議会
会長 高杉 金之助
〒030-0822 青森市中央三丁目20番30号
県民福祉プラザ2階
TEL:017(723)1391 FAX:017(723)1394
E-mail fukushi-net-aomori@aosyakyō.or.jp
県社協ウェブサイトでも「福祉のひろば」がご覧いただけます。
URL <http://www.aosyakyō.or.jp/>
印刷／青森コロニー印刷

特集 子育て家庭とのおつきあいにチャレンジ

ボランティア活動情報	2
スポットライト	4
発信! 県社協	5
ふくしワークLINE	6
県社協から	7
	8

特集

子育て家庭とのつながりにチャレンジ

子ども宅食 おすすめ便



ご自宅への食品配達も行っています!
関連記事2~3P「特集:子育て家庭とのつながりにチャレンジ
子ども宅食 おすすめ便」

県内の実施状況

2021.3～

青森市



運営は社会福祉施設が中心ながら、多くの民生委員も活動に協力。

2020.11～

三沢市



毎回地元のパンやタマゴが寄贈。運営は民生委員も協力。

2020.11～

五所川原市



地元農家や商店からの寄贈多数。民生委員や保育施設が運営で協力。

2020.12～

八戸市・階上町



こども食堂の運営者中心に活動。毎回市民や企業からの寄贈が多い。



食品を届けることが目的ではない

子育て家庭とのつながりにチャレンジ
いざも宅食 おすそわけ便



社会的に孤立しがちな子育て家庭等に対し、定期的に食品等を支援する活動が「こども宅食 おすそわけ便」です。無料で食品を届けることを通して、孤立しがちな子育て家庭等とつながりを持ち続け、支援につながりにくい家庭がいざという時に相談しやすい環境を作ることを目的としています。

青森県社協が指定する県内各地域の約50団体が運営主体となっており、令和2年11月にスタートし、青森県内4地域で現在活動しています。これまでに約450を超える方々から食品等を寄贈いただき、約1万4千人の方にご利用いただきました。多くの県民の善意を子育て家庭に届けるこの活動は、各地域のスタッフやボランティア約7千5百人によって支えられています。(令和3年7月までの累計値)

その1 複数の利用形態

「つながってもいい」距離感に合わせて、「つながり」の接近度を変えても対応できるように、次の3つを基本に複数の利用形態を設定しています。

- ①自宅への配達：運営者や運営協力者が自宅等に梱包食品を配達します。
- ②指定場所での受け取り：指定場所で梱包食品を受け取ります。
- ③パントリー（※）：指定場所で好きなものを選んで持ち帰ります。



※パントリーとは
指定場所の指定時間内に、申込不要で自由に出入りし、好きなものを選んで持ち帰る利用形態のこと。

その7 無償での労力提供

運営者には、謝礼や旅費は払われず、全て無償で労力を提供していただいています。

その2 利用時の申込が不要

誰もが利用できるよう「つながり」のハードルを下げるために、必ず申込不要の利用形態を設定しています。

その6 無償提供された食品

利用者に提供する食品は、購入した商品ではなく、無償提供されたものを提供することを基本としています。

その3 対象者を限定しない

誰もが利用できるよう「つながり」のハードルを下げるために、「生活困窮者」や「ひとり親家庭」などと対象を限定していません。

その5 相談できる場所の確保

「つながり」の確保のため、こども宅食 おすそわけ便以外の日も相談できる場所を確保しています。

その4 複数の運営主体で実施

公正さを担保するため、複数の運営主体で実施しています。



つながることを焦らない

この活動で、困っている方がすぐに支援につながるわけではありませんが、つながることを焦らずに活動を続けていきます。

伝え続けているメッセージは、『少しでも「おすそわけ」しますから、遠慮しないで利用してね。もし何か不安なことや心配なことがあったら、相談してもいいと思うた時でいいから、いつでも私たちに声をかけてね。』ということですよ。

支援を必要としている人が、私たちちとつながってくれる時を焦らずに、待っている。そんな活動です。



自宅への配達が大人気!

自宅配達は事前の申込が必要ですが、各地域で激戦の競争率です。

パンやタマゴ、野菜、お米などを袋に梱包し、受け取りを希望した方の自宅にお届けしています。

車が無い、人目が気になる人のために活動を続けています。



生協などから無償で定期的に寄贈いただく食品は、各地域で1回あたり1000点以上を用意。

広い間口で支援につなげる!

「子ども宅食 おすそわけ便」は、食品等を届けること自体が目的ではありません。食品等の配達を入口にして、困ったことがあった時に既存の制度による支援や、制度の狭間の課題への支援につなげることを意識しています。

「子ども宅食 おすそわけ便」の利用から支援につながった事例を紹介します。

事例①

新しい制服を用意してあげたい

2人の子を持つシングルマザー。長男の制服をリサイクルショップで購入して用意したが、そのことを馬鹿にされて泣いて帰って来た。新学期まであとわずしか時間がないが、入学費用が重なりお金が足りない。

↓就学費援助制度の申請に同行するとともに、「青森しあわせネットワーク」では制服を緊急支援。



申込不要のパントリー式の運営会場は、1時間ほどで食品がなくなってしまう盛況ぶり。



長い行列と渋滞は「子ども宅食 おすそわけ便」の名物に。

事例②

コロナの影響で通勤もできない

夫と子3人の5人家族。コロナの影響で仕事が減り、家賃も光熱費も滞納。仕事に行きたくても通勤のためのガソリン代もない。

↓住居確保給付金や緊急小口資金の申請に同行。「青森しあわせネットワーク」ではガソリン代を緊急支援。

広がるおすそわけ便

「子ども宅食 おすそわけ便」は、活動を継続するだけでなく、新たな取組も始めています。

「若者よ、腹を満たせ」が合言葉の「おすそわけ便+（プラス）」は、中高生世代の本人と相談機関がつながるきっかけづくりの活動で、カップラーメンや女性用品等の配布を行っています。

「おすそわけ便じよいふる」は、女性用品の無償提供を通じて相談機関とつながるきっかけづくりの活動です。恥ずかしさを感じずに利用できるよう、牛丼やクッキー、タピオカドリンクなどの無償提供と合わせて行っています。

これからの「子ども宅食 おすそわけ便」の取組にぜひご注目ください!



「子ども宅食 おすそわけ便」は、各地域、2ヶ月に1回の頻度で開催中!

お問い合わせは電話やメールで!
電話: 017-723-1391 (代表)
メール: shiawase@aosyakyō.or.jp

最新の開催情報や活動の詳細は、青森県社協のHPに掲載しています。

詳しくご覧になりたい方は「子ども宅食 おすそわけ便」で検索!





人と人支え合う社会へ ボランティア活動実践セミナー開催

令和3年6月22日、住民相互の支え合い活動実践者の報告等を通じて、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができる地域づくりを推進することを目的に、「ボランティア活動実践セミナー」を開催しました。

被災地でのボランティア活動の講演

「被災地支援を通して今伝えたいこと」何もせずに後悔したくない」と題した講演では、岩手県二戸市のスーパーボランティア、岩誦坊クラブの田口由太郎氏を講師に迎え、自らの被災地での活動紹介を通して、人と人が支え合う大切さをセミナー参加者に伝えました。

平成7年1月17日に発生した阪神淡路大震災の被災地の現状をテレビ



阪神淡路大震災後、東日本大震災や熊本地震、北海道胆振東部地震等、多くの被災地支援をしてきた田口氏。

「地域の支え合い活動」地域の宝物発表会」と題したパネルディスカッションでは、特定非営利活動法人なぶねつとの四戸泰明氏をコーディネーターに迎え、パネリスト3名が

地域での取組みと課題についての意見交換



阪神淡路大震災で田口氏が目の当たりにした光景

で見た田口氏は、居てもたってもいられず、岩誦坊クラブのメンバー2人と自家用車で現地に向かい、テレビで見たものより深刻な光景を目の当たりにしました。被災者の声に耳を傾け、家屋からの荷物出しや炊出し等、約10日間にわたるボランティア活動を通じて感じたこととして、「仲間や被災地で出会った方々等、多くの縁と支えがあったからこそ活動ができた。人生は一度きり、後悔しないように生きることが大切」と話しました。



パネリストの皆様（左から）
細谷おらほの寺子屋運営委員会 山村氏
南田中ふれあいの場実行委員会 葛西氏
みなみ広田町内会 菊池氏

各地域での取組みを発表し、課題についての意見交換を行いました。
三沢市の山村悦子氏は、よさこい交流会や海外料理体験を通じた国際交流などの地域の特徴を活かした活動、介護予防やヨガ教室、マスクづくり等の趣味活動について発表しました。
平川市の葛西勇人氏は、「サロン活動で自分が用意したお菓子を参加者が食べてくれなかったことから、お菓子選びを参加者に任せるようにしたところ、主体的に参加してくれるようになり、運営側の負担も減った」と、さりげない工夫から学んだ事例を紹介しました。
五所川原市の菊池義孝氏は、活動に協力してくれる人材不足について課題があることを話し、「運営側も楽しむことが大事」と話しました。

お部屋 病院 オフィス ホテル ホール 等の

臭い が気になる!! **感染** が心配!! **カビ** が気になる!!

そんなときには



抗菌・防臭・抗ウイルス
デルフィーノコーティング

デルフィーノは接触感染により発症するリスクが高い感染症のウイルスや菌を分解・除去します!

クリアな快適空間へ



スマート介護なら何でも揃う!

スマート介護

介護・福祉施設向けデリバリーサービス

コスト & 手間の軽減で
業務効率UP!

充実の商品
ラインナップでサポート
約20,000アイテム

介護施設で働くすべての皆さまをお手伝い!

創業
治元年

お届けしたいのは
期待を超える価値と笑顔です

HIGUCHI

株式会社ヒグチ

青森市問屋町一丁目 15-22
八戸市下長 四丁目 5-4

☎017-738-3661
☎0178-38-8411





スポットライト

平内町在住のアーティスト今恵美子さん。「就労継続支援B型ほ・だあちゃ」で、自分の感性を活かした絵画の制作を精力的に行っている、今さんにスポットライト！

絵があったから自分らしく生きられる

青森市石江にある「ほ・だあちゃ」は、美術館のようなモダンな建物です。



今さんの多くの作品はポスターカラーマーカーで制作されています

「みなさんの作品にとっても刺激を受けます。」と語るのは、今恵美子さん。ひととき想像を掻き立てる今さんの絵画は、障害者アート展で高く評価され、平成30年に開催されたArt to You! 第4回東北障がい者芸術公募展の優秀賞・三菱商事賞に輝きました。また、地元平内町から文化賞も受け、令和2年6月に地域のみなさんの協力で、ホタテ広場で個展も開催しました。

はじめの一步

17歳のときにいじめに遭った今さんは、統合失調症を患いました。不眠障害や対人恐怖症を抱え、自傷行為をするまでに陥り、人生の希望を見いだせない毎日が続きました。そんなとき友人の勧めで、アートに触れることができる「ほ・だあちゃ」の見学をしました。吹雪の日、やっとの思いで辿り着いた場所で、自分の気持ちを何も言えないでいた今さん。見学の帰り際、勇気をふりしほって「人形を飾らせてください。」と伝えると、理事長の佐藤さんは快く引き受けてくれました。



今さん(左)と佐藤さん(右)「ほ・だあちゃ」との出会いは今さんの人生の転機となりました

「ほ・だあちゃ」には今さんの多くの作品が保管されており「部屋が絵で埋まっています。」と理事長の佐藤さんは嬉しそうに話します。

「東京で個展を開きたい」夢にむかって!



作品にはそれぞれストーリーが表現されています

「毎回、ひとつの絵の中にストーリーを考えるんです。人間と自然との共存を意識しています。人間にはいろんな面があるから、毎回違う絵になります。」と語る今さん。絵を描くことで、たくさんのお会いがありました。「一生懸命やっている」と見てくれる人がいるんです。居場所がないと思っていた地元の平内町も好きになって、今は地元で頑張ろうと思っています。

お世話になった東京の友人のお母さんからの「東京で恵美ちゃんの絵が見たいな。」という一言で今さんの新たな目標が決まりました。その方は亡くなってしまいましたが、東京で個展を開くことは大きな目標となっています。

今でも過去を思い出すと辛い気持ちになることもあります。それでも、今さんはたくさんの人に支えられたことに感謝し、未来を信じて絵を描き続けています。

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)

株式会社RAB企画

0120-55-7064 FAX 017-739-3598
〒030-0113 青森市第二間屋町3丁目2-35

- アフラックサービスショップ青森柳町店 〒030-0861 青森市長島2丁目25-4 ☎017-721-3151
- 八戸支店 〒039-1166 八戸市根城5-5-27 青森放送八戸支社3F ☎0178-43-8610
- アフラックサービスショップ八戸下長店 〒039-1164 八戸市下長1-6-20 ☎0178-21-1730
- 弘前支店 〒036-8355 弘前市元寺町25-1 青森放送弘前支社1F ☎0172-35-1881
- むつ支店 〒035-0033 むつ市横迎町2-16-8 ☎0175-33-8215

(引受保険会社)

「生きる」を創る。 **アフラック**
青森支社
〒030-0802 青森市本町1-2-15 青森本町第一生命ビルディング9F
Tel.017-777-0963 Fax.017-777-0942

がんを克服
病气やケガの備えに **NEW**

No.1 がん保険 医療保険 保有契約件数 平成30年度 インシユアランス生命保険統計数 約4世帯に1世帯がアフラックの保険に加入 (詳細はホームページをご確認ください)

心配な「がん」の備えに

●契約年齢 0歳～ 満85歳まで ※ご契約内容により異なります。

NEW! ライフステージの変化に ちゃんと応える 医療保険EVER

生きるための がん保険 Days 1

©商品の詳細は「パンフレット」「契約概要」などをご確認ください。 AFツール-2019-5369-1909007 7月30日



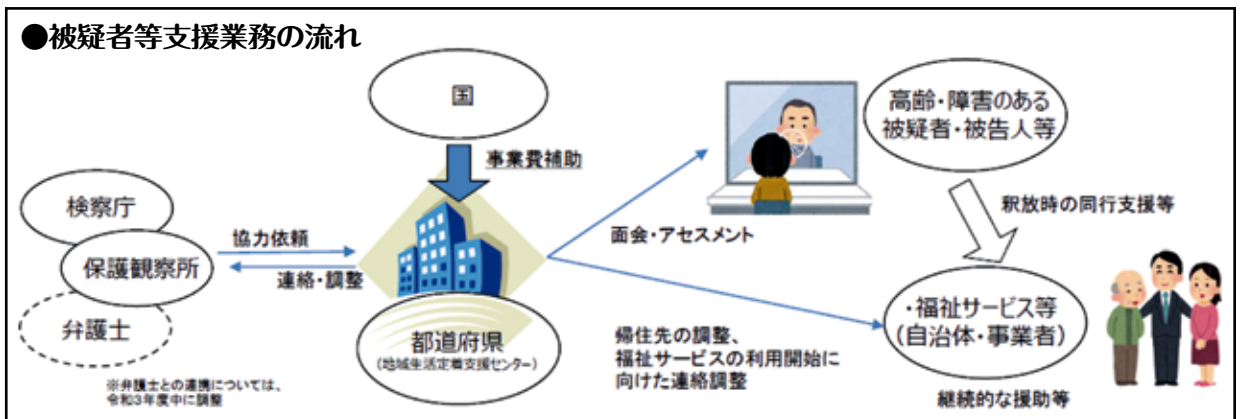
**福祉的支援を必要とする
罪を犯した高齢者、障がい者
の支援**

●**地域生活への定着と社会復帰支援**
認知症や発達障がい、知的障がい等により福祉的支援を必要としているものの、地域において福祉とのつながりが希薄なために日常生活が困難になり罪を犯してしまう方がいます。

青森県地域生活定着支援センターでは、保護観察所等からの依頼により平成23年度から140件以上の居住先の調整や福祉サービスの利用等の支援を行ってきました。罪を犯した高齢者や障がい者が刑務所等の矯正施設退所後に、安心して地域生活を送ることができるよう支援しています。

●**被疑者、被告人等の支援**
犯罪が発生した場合に、警察や検察庁等から犯罪の疑いをかけられ捜査の対象となった者を被疑者と呼び、検察官によって起訴された被疑者を被告人と呼びます。

青森県地域生活定着支援センターでは、今年度から被疑者、被告人等が高齢、または障がいにより自立した生活を送ることが困難な方に対して、検察庁や保護観察所等と連携して釈放後すぐに福祉サービス等が利用できるような支援（被疑者等支援業務）を行っています。



(引用：厚生労働省会議資料)

【お問い合わせ】
青森県地域生活定着支援センター
☎ 017-732-1570

～ソウェルクラブで利用できる会員サービス～

- ・生活習慣病予防健診費用助成（最大4千円）
- ・結婚、出産、入学のお祝い品贈呈（商品券5千円分～）
- ・健康生活用品プレゼント（3千円相当）
- ・永年勤続記念品のプレゼント（5千円～5万円相当）
- ・各種講習会の受講 …………… など



最新情報を
チェック!

他にも**様々なサービス**をご利用いただけます！
上記QRコードから詳しい情報をチェック!!



●会員は全国で26万7千人!

ソウェルクラブ（福利厚生センター）は、「社会福祉事業に従事する方々の福利厚生の増進を図る」ことを目的に、厚生労働大臣の指定を受けた全国で唯一の法人です。お祝い品の支給やレジャー施設等を優待価格で利用できるなど、幅広い分野で様々な福利厚生サービスを提供しています。

福祉・介護職員の福利厚生は
ソウェルクラブに
お・ま・か・せ!



～ソウェルクラブ 契約対象職員～

対象：社会福祉事業を営む法人内の役職員全員（非常勤職員を含む）が対象となります。

掛金：10,000円（年間1人あたり）

※1ヶ月あたり833円
非常勤職員は、1万円もしくは5千円（指定するサービスのみ利用可）の選択制

○青森県オリジナル企画 「会員交流事業」

青森県社協はソウェルクラブの地方事務局として、会員同士の親睦や家族のふれあいを目的とし、会員の皆様が楽しんで参加できる企画を毎年実施しています。

○御食事会

お一人様3千円の助成金をソウェルクラブから助成し、いつもよりお得に御食事をお楽しみいただけます。県内の飲食店数カ所で行っています!

○旅行プラン

指定のパンフレットから会員の皆様に自由に計画していただく旅行企画です。**お一人様最大2万円の助成金**をソウェルクラブから助成していただきます。ご家族の方も助成の対象となるので大変お得です!

福利厚生の充実をお考えの事業所の皆様、ぜひ、ソウェルクラブをご活用ください。

【お問い合わせ】
青森県社会福祉協議会 総務課
☎ 017-723-1391



みなさまの善意に感謝！

(令和3年2月～令和3年6月)

■青森県社会福祉協議会への寄附 (敬称略)

- 寄附金
- ・公認会計士・税理士 小野寺高事務所 80,814円
 - ・公益社団法人青森県柔道整復師会 100,000円
 - ・公益社団法人生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会 100,000円
 - ・加瀬 幹 様 17,200円
 - ・匿名希望 (5名) 219,740円

■青森県善意銀行への預託 (敬称略)

- ・フコク生命青森支社外野倶楽部 車椅子3台
- ・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 MS&ADゆにぞんスマイルクラブ 車椅子1台
- ・株式会社東流社 5段ブリーツマスク50枚入 1,500個
アルコール除菌ウェットティッシュ60枚 1,200個
除菌抗菌ウェットティッシュ20枚 6,000個
- ・株式会社 ユアテック青森営業所
非常災害用食料品「カレー」12食×16箱=192食
非常災害用食料品「牛丼」12食×15箱=180食
非常災害用食料品「シチュー」12食×14箱=168食
合計 45箱 540食 (味噌汁・発熱セット付き)
- ・株式会社ユアテック青森支社
非常時食料品 (シチュー、牛丼、カレー等) 60箱
- ・大和ハウス工業株式会社 青森支店
カロリーメイト (チョコレート味・180個)
- ・青森市役所 危機管理課
アルファ化米 (炊き出しセット50食/50箱)
- ・青森銀行従業員組合 使用済み普通切手 3,280枚
使用済み記念切手 1,196枚
未使用はがき 89枚
- ・株式会社ツルハホールディングス 車椅子15台
- ・青森県信用金庫協会 使用済み切手 5,540g
- ・星野太郎バッグデザイン研究株式会社
子供向けリュックサック (新幹線モチーフ) 295個



令和3年度法人運営セミナーを開催します

【問合せ先：青森県社協 総務課／電話：017-723-1391】

研修名	福祉の職場の リスクマネジメントセミナー	福祉事業者のための コーチング講座
内容	福祉施設で経営者等が知っておくべき法律や起こりうるトラブルへの対応方法を学ぶ	部下や後輩のやる気や能力を引き出す「コーチング」について、講義・演習を通して学ぶ
日時	10月15日(金) 11:00～16:00	11月19日(金) 10:30～15:30
会場	青森県観光物産館アスパム 5階「あすなる」	
対象	県内の福祉事業所の経営者・管理職等 先着70名	県内の福祉事業所のリーダーや管理職等 先着50名
申込締切	9月15日(水)	10月18日(月)

お知らせ

「福祉のひろば」へのご意見募集中！

県社協HPの入力フォームから回答可能です！
各記事への感想や今後掲載してほしいことなど、お気軽にお寄せください！

【県社協HP】

NINJA SIGN

脱判子

電子サインで「電子契約」!

印紙代削減・押印の為の出社をなくす・業務効率を改善

電子契約

Technol

電子契約はテクノルへ!

NINJA SIGN -Lightプラン-

月額 4,980円 (税込5,478円)～

TEL0178-47-8311

www.technol.co.jp

a-sui@technol.co.jp

価値観も、生き方も、 広がる時代に。

さまざまな「不安」や「リスク」に対しベストな保険をご提案いたします。

MS&AD MS&ADインシュアランスグループ

MS北東北株式会社

【青森支店】〒030-0823 青森市橋本2-19-3 三井住友海上青森ビル4階 TEL : 017-718-5559

【八戸支店】〒031-0081 八戸市柏崎1-11-18 シエナビル4階 TEL : 0178-43-3351

【むつ支店】〒035-0071 むつ市小川町2-11-29 東信ビル TEL : 0175-33-0291

青森県火災共済協同組合

福祉に関わる皆様へ

暮らしのなかにある

さまざまな「もしも」を

しっかりサポート

いたします！

いつものように

いつまでも

NEW !

地震危険補償特約

火災共済 自動車共済 医療総合保障共済

青森市新町2丁目 8-26 TEL 017-777-8111(青森本部)

Next innovation

会社が培った情報という財産を次の時代に活かす。

ACS 株式会社 青森電子計算センター

■本社 / 青森市大字三内丸山393-270 (西部工業団地内) TEL 017-761-5300

■八戸支店

■東京支店

■弘前営業所